

ふれあい 広場



不断の努力で 明るい年に

前橋警察署員の皆さんには、昨年住生活の安全を守るため、昼夜を問わず献身的なご尽力をいただき、また歳末警戒やニューイヤー駆伝などで特段のご協力をいただきました。こうして無事に新年を迎えられたのも、皆さんの不断の努力のたまもので深く感謝いたします。

また、ただ今、警察行政に対する貢献で感謝状の贈呈を受けた皆さんには、これを励みに今後とも犯罪の防止や交通安全をはじめ警察活動への一層のご支援、ご協力を期待いたします。

昨年は飲酒運転による事故が多発し、その撲滅の機運がかつてないほど高まりました。この年末年始の飲酒運転による事故件数は、全国で前年の3分の1以下になったと聞いています。どうか署員の皆さんには、今後とも住民の皆さんが安心して生活できるよう、力強いリーダーシップの発揮を期待します。

今年が署員並びにご列席の皆さん、さらには住民の皆さんにとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からご祈念いたします。
(前橋警察署初招集、1月17日、前橋警察署)

まえばし シティフラッシュ



連携事業で経済講演会を
一月十六日、前橋テルサで前橋・高崎連携事業の「新春経済講演会」が開かれました。早稲田大学院教授の野口悠紀雄さんが「2007年日本経済のゆくえ」と題して講演。四百人の参加者が熱心に聞き入っていました。



点検受け心新たに

交通指導員の初点検が1月12日、市役所12階市民ロビーで行われました。高木市長が服装などを点検した後、「市民の安全のため頑張ってください」と激励。交通指導員は登下校時やイベント開催時に交通整理などで活躍しています。

日ごろの成果披露

1月16日から18日までの3日間、桂萱公民館で生涯学習奨励員の文化祭が開催されました。これは奨励員の日ごろの成果を発表する場。絵画や写真、工芸など例年より多い141点の力作が展示され、訪れた人を魅了していました。



元総社地区

交流深める どんど焼き

一月十四日に問屋町公園グランドで住民の無病息災と家内安全を願い、どんど焼きが行われました。積み上げられたしめ飾りや松飾りに点火すると一気に燃え上がり、だるまやお札がばちばちと大きな音を立てるとびっくりする子も。集まった家族連れは、繭玉団子を焼いたり、振る舞われた豚汁やおしるこを食べたりして体を温めました。小池郁雄自治会長は「今後も伝統行事を子どもたちに楽しく伝えていきたいですね」と話していました。



太々神楽を 間近で鑑賞



桂萱地区

一月十三日、東片貝町の片貝神社で新年例大祭が開催されました。これは百二十年続く伝統芸能の太々神楽を奉納するもので、境内にある舞台上で終日、舞を披露。ミカンやもちなどの供え物が投げられる愛嬌舞では、無病息災にとたくさんの人が舞台へ手を伸ばし、歓声も上がるほどの大変なにぎわいでした。太々神楽保存会の石倉長作会長は「子どもがたくさん来てくれてうれしいです。地域に愛されているこの伝統を絶やさず、継承していきたいですね」と話していました。

年始めに幸先良いスタート



県弓道連盟初射会で優勝
角田 光由さん(35)
大友町二丁目

県弓道連盟が主催する初射会・称号の部で優勝した。「毎年、新春に行われていこの大会には、今まで三回出場しています。六射すべて命中させて初めての優勝。と

でもうれしいです。今年一年、幸先の良いスタートが切れましたね」
高校入学とともに弓道部に入り、三年間、努力を重ねたが納得のいく成績は残せなかった。
「高校卒業後の六年間、やめていたのですが、やはり、弓が好きなんです。二十五歳のときに県弓道連盟前橋支部に入り、再び始めました。自分の技術と精神力だけで競う点が弓道の魅力。試合では作戦も駆け引きもないし、誰も助けてくれません。常に同じ動きで、同じように引けるよ

う稽古を続けるだけです」
現在は錬士五段。さいたま市の会社まで片道一時間半かけて通いながら、週一、二回、市民体育館の道場で二時間ほど矢を射る。
「仕事と弓道はまったく切り離し、それぞれ集中してやっているの、双方に良い影響を及ぼし合っているのだと思います。精神力をますます高め、六段に昇段することが今の目標です。欲張らず、一つ一つ着実に取り組みます」
家に帰れば男の子二人の父親。休みに遊ぶのが楽しみと、笑みがこぼれた。